

K-MACH

KEIO MEDICAL APP CHALLENGE

健康医療ベンチャー大賞のスピノフ企画、慶應による**医療機器アプリ作成コンテスト**。4日間で新しい医療機器アプリの構築を目指すハッカソン。多様なバックグラウンドを持つ学生メンバーをマッチングしたチームでアイデアを競います。最終日のコンテスト優勝チームには賞金を授与！Day1~3の各日には、多彩なバックグラウンドを持たれる方々をお呼びして**特別講演**も開催します！

テーマ

感染症対策アプリ（COVID-19対策に限りません）
およびそれに準ずるアプリケーションの作成

テーマ例： ✓ 小児の感染症において受診判断を助けるアプリ
✓ 食当たりを防ぐための食品消費期限判定アプリ
✓ 院内感染対策アプリ



過去大会のアイデア例：
シフトワーカー、海外旅行者、そして早起きが苦手な全ての方に、最適な起床時間を光で知らせ自然な目覚めを提供する、睡眠覚醒リズム矯正アプリ「Eywake」

対象者

感染症対策分野のビジネス・アプリ構築に興味がある35歳以下の学生

※チームは、専攻などを鑑み事前にマッチングを行います。
※応募者多数の場合、選考を行う場合があります。
※参加費**無料**。

会場

zoomを使用し、全日程をリモートで行います。

日程

募集締切	8/10
Day1	8/25
Day2	9/1
Day3	9/8
Day4	9/15

☆ 講演者・審査員



畑中 洋亮 氏

神奈川県 医療危機対策統括官
厚生労働省健康局 参与 新型コロナ対策・情報戦略担当/
CIO補佐/入国管理センター総責任者補佐



石川 明 氏

株式会社インキュベーター代表取締役



奥田 知明 氏

慶應義塾大学 理工学部 応用科学科 教授



詳細・エントリー